

大阪・関西万博 出展報告書

Herofinder Beta Launch Report

ヒーローファインダー リミテッド

2025年9月15日

Herofinder Ltd

15 September 2025





1. 概要

Overview

2025年9月13日、大阪・関西万博プレイイベント「大阪ヘルスケアパビリオン / 国際金融都市OSAKAフェスティバル - Reborn Stage」にて、Herofinder ベータ版を初公開しました。

Herofinderは「見えない価値を見える化」することを目的とし、来場者はアプリを通じて「**ヒーロー診断**」を体験し、診断結果に基づいて提示される「**ヒーローミッション**」を通じて社会貢献を模擬体験しました。

修了者にはデジタル「**ヒーローバッジ**」が発行され、来場者の自己成長・社会参加を可視化しました。

本実証は、企業の人的資本経営や未来世代のリーダー育成と結びつき、**社会的価値の創造を目指す先駆的な取り組み**となりました。



2. ハイライト

Highlights

- 大阪・関西万博会場にて**社会奉仕シミュレーターアプリ（Herofinder ベータ版）**を初公開
- 子どもから高齢者まで幅広い世代が参加
- 「診断 → ミッション体験 → バッジ発行」という一連のユーザーフローを実証
- デジタルバッジ（通常版）を発行し、**9月13日の特別記念バッジ**として来場者アカウントに登録
- 営利企業・非営利団体・自治体からの協働打診を獲得

3. 数字で見るインパクト

Impact with Numbers

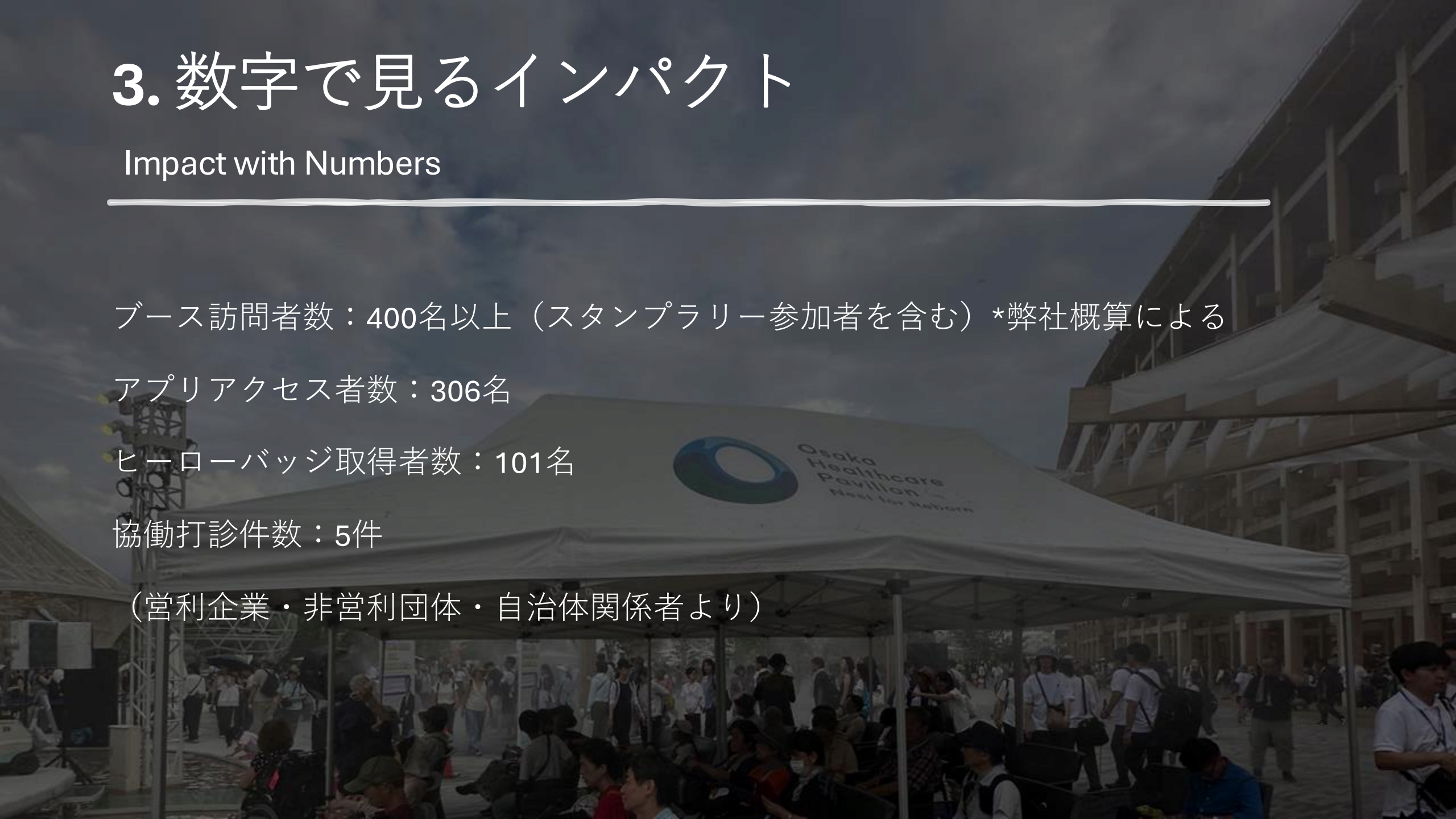
ブース訪問者数：400名以上（スタンプラリー参加者を含む）*弊社概算による

アプリアクセス者数：306名

ヒーローバッジ取得者数：101名

協働打診件数：5件

（営利企業・非営利団体・自治体関係者より）



4. 戦略的実証実験の実現

From Patent to Pro Bono

短期間開発 / Rapid Development

- 限られた期間の中で、本番プロダクトのエッセンスを取り入れた簡易版アプリを開発
- ローンチに先立ち、**特許を出願（出願日：2025年9月11日）** し、独自性と将来の拡張性を確保

参加設計 / User Experience Design

- 小学生から参加できるよう、設問をシンプル化
- 「得意を活かして社会奉仕する」 = **プロボノ・コンセプト** を導入
- 年少者も活躍できる **非認知スキル・マッチングアルゴリズム** を実装
- 参加者から団体への **エール（応援メッセージ）** 機能を追加
- 課題を「自分ごと化」する **ヒーロー宣言 / Hero Pledge** を組み込み

展示設計 / Pavilion Design

- 大阪府イベント趣旨に沿った「記念に残る体験型出展」を設計
- 大阪府スタンプラリー設置場所に指定され、来場者流入を促進
- 参加団体による **動画コンテンツ** で視覚的に訴求



5. 実証で見えた課題

Challenges Identified

今回の実証で明らかになった課題は、次期改善に向けた貴重な学びとなりました。

登録時のエラー / Registration Errors

- 多様なスマホ機種で登録時の不具合が判明
- 特に Android機種の多様な不具合に未対応
- 高齢者が画面を拡大設定した場合、ボタンが隠れて操作できないUI不具合 が発生

ユーザー体験における課題 / User Experience Issues

- ユーザー登録への心理的ハードルが高く、この時点での離脱率が最も高かった
- 初回UI導線が直感的でなく、説明補助が必要
- 端末ごとの自動設定により表示が変わるなど、予期せぬ影響があった

ユーザー層対応の課題 / Accessibility for Diverse Users

- 年少者や高齢者にとって、より親切的なUI設計が求められる
- 「設問が難しい」との声があり、日本人に馴染みやすい表現 への改善が必要

6. 次のステップ

Next Steps



今回の実証で得られた成果と課題を踏まえ、改善を進めて参ります。

- UI/UX改善（初回導線の最適化・Android対応強化）
- デジタル／NFTバッジのデザイン強化と発行フロー改善
- 教育機関・企業との共同プログラム設計
- 多言語対応の精度向上（Japanese / English他）
- リアルタイムデータを可視化するダッシュボードの開発
- 2027年から始まる サステナビリティ報告義務化 との接続を見据えた準備

7. 謝辞

Acknowledgements

大阪府・大阪市およびイベント運営会社の皆様

このような貴重な出展機会をいただき、心より御礼申し上げます。「国際金融都市 OSAKA フェスティバル」のテーマに沿い、数年後に迫る資本市場へのサステナビリティ報告に向けた支援策を検討するきっかけをいただきました。

社会的活動に取り組まれる営利・非営利事業者の皆様

長年の実績ある活動が続けてこられた皆様に信頼いただき、共に取り組めたことは大きな励みとなりました。さらに、皆様それぞれがご多忙の中、動画をご準備いただいたり、ユーザー体験を向上させるためにコンテンツをご調整いただいたり、何度もやり取りを重ねてくださったことに、心より御礼申し上げます。

来場者・ユーザーの皆様

万博会場での貴重なお時間を割き、私たちの活動にご参加いただきありがとうございました。システムの不備により、何度もアクセスを試みてくださった方、またエラーのため登録いただけなかった方には、深くお詫び申し上げます。

皆様よりいただいたご経験を真摯に受け止め、今後の改良に反映してまいります。



先進的事業者のご紹介

Hero Pics!

あとがきに代えて

このたび大阪万博にて登壇の機会をいただき、「『儲かってまっか?』の再定義をしよう」というテーマでお話しさせていただきました。

私たちは、目先の利益だけを追い求める時代をすでに越えています。たとえ一時的に損をしても、長期的に正しい選択をすべき時代に来ています。

その中で、世代を超え、本気で社会を変えようと挑戦している活動家の存在を知っていただきたいーそう皆さまにお伝えしました。

自らの専門性や得意分野を社会のために活かし、遠い未来の誰かのために無償の奉仕を買って出る。そんな「時空を超えた挑戦」をしている稀有な方々がいます。ここでは、その一部をご紹介します。

パーパスのために一步一步、前へと進む姿は、まるで夜空に輝く星のようです。その光は、子どもや孫たちが生きる未来を明るく照らすことでしょう。Herofinderは、そのような素晴らしい活動と出会える“場”を提供していきたいと願っています。

ヒーローファインダー代表
大竹 明子

レトリック・エーアイ社（アメリカ）：対話ボット『Happier（ハピアー）』

LLMとポジティブ心理学を統合した共感的対話エージェントの開発。連続起業家の加藤崇氏が挑む、幸福の「奪い合う競争」から「共同の創造」への転換。

https://note.com/takashi_kato

ティーチ・フォー・ジャパン（アメリカ発・日本）：教育格差の解消

民間から多様な人材を、教員免許の有無に関わらず選考し、教師として育むフェローシッププログラムを実施。各地自治体と連携し多角的に教育課題にアプローチする。

<https://teachforjapan.org/>

MITベンチャーフォーラム（日本）：スタートアップ支援

25年以上前から、イノベーションを通じて社会課題を解決し、持続的に発展できる社会を目指すアントレプレナーを支援。毎年メンタリングプログラムを開催している。

<https://www.mit-vf.jp>

ニューメディア開発協会（日本）：VR技術で病児支援

メタバースやアバターロボットの技術を活用して特別支援学校の子どもの「リアルな体験」につなげ、大学生ボランティアらと共に多くの笑顔を作り出している。

<https://www.nmda.or.jp/>

SOS子どもの村（オーストリア発・日本）：子どもと家庭を取り残さない

様々な理由から家庭で生活ができなくなった子ども達を施設ではなく愛ある家庭で暮らせるための家庭支援と里親養育の支援モデルを作っている。福岡から他の地域にも展開中。

<https://www.sosjapan.org/>

早稲田大学社会的養育研究所（日本）：科学的アプローチで国政を動かす

児童精神科医・福祉社会学博士である上鹿渡教授が発起人となって立ち上がった、国内大学初の当分野での専門機関。以降、子どもの人権に大きく貢献し続けている。

<https://waseda-ricsc.jp/>